

2023 年度 水俣学講義 2024 年 1 月 25 日

担当 花田昌宣

# 水俣病と水俣学の将来展望

はじめに

## 1. 水俣病事件の一年間

被害者の現状

水俣病認定患者数

水俣病被害者数

近畿訴訟判決とその意味

2023 年 9 月 27 日 大阪地裁

原告全員認められる

国と熊本県が控訴

水俣病訴訟の現状と課題

## 2. 水俣病に関する教育と研究

小中高での教育 と課題

水俣病研究の課題

分かっていることと分かっていないこと

水俣病の「原因」

水俣病の治療とリハビリ

## 3. 水俣病をめぐる諸課題

○ 当初

(ア)原因の究明

(イ)地方都市での出来事

(ウ)被害者数の少なさ

○ 現時点では

原因：工場廃水中の重金属による中毒

4 大公害事件

患者・被害者数

認定患者数。

「被害者数」各種救済策対象者数 7万人

#### 4. そもそも水俣病とは

工場廃水	チッソ、日窒の化学工場の工程
海洋汚染	水質汚染の防止と規制策は
魚貝類汚染	汚染の調査と漁獲規制は
食物連鎖	摂食規制は
健康被害	被害の実情と補償

#### 5. 水俣学とは

人類の負の遺産（経験）を将来に生かす取り組み

「水俣病学」ではなく「水俣学」と称する意味

水俣病という「病気」の研究だけではないこと

地域学・地域研究ではない

教育：公害教育から環境教育

被害者と被害事実を焦点を当てる試みの必要性

学生の学び 現地研修、さらに教員の研修と学び

研究：分かっていることと分かっていないこと

調査の必要性：調査はされてこなかったのか

膨大な研究の蓄積があるのだが

cinii で 3999 件の論文や記事、書籍は 580

水俣で検索すれば 6500 件

イタイイタイ病は 816 件

何がわかっていないのか

#### まとめ 水俣病事件の経験を将来に生かすこと

一人一人にとっての水俣

この授業で学んだことを将来に生かすとは：職業生活に生かす

水俣学を学び続けること

卒業論文や卒業研究

大学院での研究